

林業の仕事とは… 今伝えたいこと…

日本は、世界屈指の森林国です。その豊かな環境を活かし、スギ、ヒノキなどを植え育て、生活に役立てていきました。

植林の後、間伐や枝打ちなどの手入れが行き届いた森林は林内が明るく、動植物の生態系も守られ、水や空気を作り出し、人々に潤いを与えます。森林は二酸化炭素の吸収源でもあり、地球温暖化防止や土砂災害防止など、国土の保全にも大きく貢献しているのです。

森林を維持管理しながら、育成した樹木を伐採して森林整備、保全を行うお仕事です。

苗木を植え、豊かな森林にするために下刈り、枝打ち、間伐などを行いながら、持続可能な森林管理を行います。

緑が少なくなれば、大気汚染も進行します。山が荒れれば動物の食べる物が無くなり、人里へ降りてきます。

山の手入れをする林業は、地球の環境問題にも役立ち、地球の社会に貢献できる喜びがあります。肉体的にはハードな面もありますが、都会では望むべくもない、恵まれた自然環境の中で仕事ができます。林業という仕事をもっと広めていき、社会貢献を目指し、自然のすばらしさを知ってもらえるように、働きかけていかなければならないのです。

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

自分の安全は自分で守る

“自分の命を自分で守れないような作業者が、同僚の命まで守れるはずはない”

林業の作業現場は、日々場所も変わり、天候も変わります。作業条件が変化する中で、いつどこに危険が潜んでいるのか分からないのが実態です。

自分の安全を自分で確保して、初めて他人の安全を守る第一歩になるのです。災害防止は、口で唱えるだけでなく、防止対策の確実な実行がなければ効果は期待できません。

“自分の安全は自分で守る”を基本に考え、大切となる事とは、

- ① 体調管理に努める
- ② 作業現場には、さまざまな危険要因があることを忘れない
- ③ 安全作業手順を怠らない
- ④ 自分の安全を他人に頼らない
- ⑤ 災害を想像する習慣を身につける

これらを踏まえて、「**危険予知の共有**」をし、安全対策に繋げるようにしましょう。

努力しても結果が出ないとき、
必要なのは「感謝」かもしれない

今月の一言

★ツールボックスミーティング★

※現場責任者、または代表者が必ず確認しましょう！

- (1) 作業員の確認 (人数確認)
- (2) 健康状態の確認 (顔色・発熱・寝不足・二日酔い等)
- (3) 服装の点検 (ヘルメット・長袖服・ズボン・靴・呼子等)
- (4) 作業内容の確認 (作業内容・場所等)
- (5) 作業に潜む危険予知 (危険予知と対策)
- (6) 緊急連絡先の確認 (連絡方法や、携帯電話の通信可能位地などの確認)
- (7) 作業用具・機械の始業前点検 (使用する用具、機械の点検。作業後も整備を行い、所定の場所に保管する)
- (8) 準備運動 (体をほぐしてから作業開始)

作業前の注意点！